

From Ibigawa SABO

水不足が心配された「空梅雨」から一転、先週この地方にもまとまった雨が降り節水が解除されました。今のところ、管内で災害は起きていませんが、梅雨の長雨の影響により地盤は緩んでいると思われる。土砂災害防止月間は終了しましたが、引き続き土砂災害への備えをお願いします。

土石流や流木を捕捉 =地谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかも)地先の地谷(ちたに)に土石流の捕捉等を目的とした、地谷第2砂防堰堤(堰堤高 H=14.5m)を設置するI期目の工事に着手します。工事は平成26年3月まで行い、施工は西建産業(株)が行います。

堰堤設置箇所の上流で合流するギラ谷では、昨年9月の台風16号による豪雨で土石流が発生し、流下した土砂と流木により、品又谷に架かる県道橋を閉塞し、後続流が氾濫するなどの被害が発生しました。また、堰堤設置箇所においても、昨年の土石流で流下したと推測される大量の土砂が堆積しています。



巨石が堆積しており、土石流の破壊力の大きさが推測される

橋梁を架け替え =高地谷3橋=

揖斐川町小津(おづ)地先の高地谷(たかちたに)において、高地谷第1砂防堰堤(堰堤高 H=23.5m)を設置するために必要な林道の付け替え工事のうち、最後の区区となる第3橋梁(通称:3橋)の付け替え工事に着手します。工事は平成26年2月まで行い、施工は西濃建設(株)が行います。

付け替える橋梁は、橋長 L=28.0mの単純PC中空床版桁橋で、付け替え林道の最上流端に位置します。



橋梁設置位置
(高地谷左支溪天狗谷)

谷汲地区土砂災害防災訓練 にてパネルを展示

6月30日に揖斐川町谷汲(たにぐみ)地区を対象とした揖斐川町主催の土砂災害防災訓練が行われました。

集中豪雨により大規模な土石流が発生し、家屋への被害及び負傷者が発生したとの想定のもと、土砂除去訓練や防災ヘリによる救助訓練、非常食炊き出し訓練等が多数の住民の方も参加して行われ、災害対応能力の向上に努められました。

当事務所は訓練会場となった谷汲スポーツセンターにおいて土砂災害とテックフォースに関するパネル展示を開催し、土砂災害に対する啓発を行いました。



土壌作成訓練の様子



パネル展示の模様

メタルロードに着手 =大谷川=

揖斐川町坂内広瀬(さかうちひろせ)地先で工事を進める大谷川(おおたにかわ)第3砂防堰堤道路工事(施工:(株)久保田工務店)では、工場で作ってきた部材を現場に搬入し、メタルロードの施工に着手しました。

基礎となる鋼管杭を建て込むために、ダウンザホールハンマーで削孔しています。急斜面での作業で、決められた位置に削孔するための精度管理に苦労しています。



越美山系砂防事業調整会議を開催

円滑な事業の推進を目的に、揖斐川町(6月17日)及び本巢市(25日)と事業調整会議を開催しました。会議には藤原本巢市長や宗宮揖斐川町長にも出席をしていただき、今年度の事業内容や事業を進めるうえでの課題、地域の要望など活発な意見交換が行われ、情報の共有が図られました。



宗宮揖斐川町長



藤原本巢市長



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp